

GALLERY SEKI RYU

ギャラリー 石 榴

辰野 登恵子 Toeko Tatsuno

1950年 長野県岡谷市出身

1972年 東京芸術大学美術学部絵画科油画専攻を卒業

1974年 東京芸術大学大学院美術研究科絵画専門課程油画専攻(修士課程)を修了

1995年 「辰野登恵子 1986-1995」展を東京国立近代美術館で開催

1996年 平成7年度(第46回)芸術選奨文部大臣新人賞を受賞

2003年 多摩美術大学客員教授

2004年 多摩美術大学教授

2013年 毎日芸術賞(第54回)を受賞

2014年 逝去

■ 主な個展

2025年 「辰野登恵子展 どこにでもあるものたちのどこにもない世界」岡谷美術考古館、長野

2024年 「辰野登恵子展」ANOMALY、東京

「辰野登恵子 版画展」Mizuho Oshiro Gallery、鹿児島

2023年 「辰野登恵子 - UNTITLED」RED AND BLUE GALLERY、東京

「辰野登恵子展」ギャラリー石榴、東京/長野

「辰野登恵子版画展」シロタ画廊、東京

2022年 「辰野登恵子展 PRINTS AND STUDIES」RED AND BLUE GALLERY、東京

「辰野登恵子 - 版画特集 .IV」gallery ART UNLIMITED、東京

「辰野登恵子 - 身体的知覚による版表現」神戸BBプラザ美術館、兵庫

2021年 「辰野登恵子 - TWIN COLORS」ギャラリー石榴、東京/長野

2019年 「辰野登恵子展 一色彩と深化のプロローグ」岡谷美術考古館、長野

「Workshop in Paris」RED AND BLUE GALLERY、東京

2018-19年 「辰野登恵子 ON PAPERS: A Retrospective 1969-2012」埼玉県立近代美術館、埼玉/名古屋市美術館、愛知

2018年 「辰野登恵子展」ギャラリー石榴、東京/長野

- ギャラリー・アート・アンリミテッド、東京
- 2016年 「辰野登恵子の軌跡 イメージの知覚化」 BB プラザ美術館、兵庫
ZEIT-FOTO SALON、東京
RED AND BLUE GALLERY、東京
「辰野登恵子 ON PAPERS A Retrospective 1969-2012」 埼玉県立近代美術館、埼玉
- 2015年 「辰野登恵子 追悼展」 岡谷美術考古館、長野
「辰野登恵子 版画 1972-1995」 ギャラリー・アート・アンリミテッド、東京
「MOMAS コレクションⅢ 特集展示 辰野登恵子ーまだ見ぬかたちを」 埼玉県立美術館、埼玉
- 2012年 シロタ画廊、東京
- 2011年 資生堂ギャラリー、東京
- 2010年 BLD GALLERY、東京
- 2007年 Mizuho Oshiro ギャラリー、鹿児島
珍画廊・ジーンアートセンター、韓国（ソウル）
- 2005年 シュウゴ アーツ、東京
- 2001年 西村画廊、東京
- 1998年 コオジオグラギャラリー、名古屋
- 1996年 ギャラリー ムカイ、東京
- 1995年 ギャラリーAPA、愛知
桜華書林、長野
佐谷画廊、東京
- 1995年 「辰野登恵子 1986-1995」 展、東京国立近代美術館、東京
- 1994年 ギャラリー青城、宮城
- 1993年 佐谷画廊、東京
- 1992年 ギャラリー米津、東京
- 1991年 ギャラリー米津、東京
- 1990年 後藤美術館、千葉、松戸
- 1989年 佐谷画廊、東京
ギャラリー米津、東京
- 1987年 ファビアン・カールソン・ギャラリー、ロンドン、イギリス
アート・ナウ・ギャラリー、イエーテボリ、スウェーデン
- 1986年 ギャラリーたかぎ、名古屋
- 1985年 ギャラリーたかぎ、名古屋
- 1983年 ギャラリー白、大阪
- 1982年 康画廊、東京
- 1981年 ギャラリー玉屋、東京
ギャラリー白、大阪
- 1978年 ギャラリー16、京都
現代芸術研究室、東京

ギャラリーたかぎ、名古屋

1977年 かねこ・あーと・ギャラリー、東京

1976年 かねこ・あーと・ギャラリー、東京

1975年 村松画廊、東京

1974年 村松画廊、東京

1973年 村松画廊、東京

■ 主なグループ展

2025年 「千葉市美術館 開館 30 周年記念 未来／追想 千葉市美術館と現代美術」 千葉市美術館、千葉

「もうひとつの物語 女性美術家たちの 100 年」 世田谷美術館、東京

「信州から考える絵画表現の 50 年」 長野県立美術館、長野

「CURARION ㊦ FAIR TOKYO 美しさ、あいまいさ、時と場合に依る」 kudan house、東京

2024年 「木下佳通代、沢居曜子、辰野登恵子 | 70 年代ー不毛なもの、その先に」 Yumiko Chiba Associates、東京

「ここは未来のアーティストたちが眠る部屋となりえてきたか？——国立西洋美術館 65 年目の自問 | 現代美術家たちへの問いかけ」 国立西洋美術館、東京

2022年 「関西の 80 年代 今 ふりかえる関西ニューウェーブ」 兵庫県立美術館、兵庫

2021年 「シンビズム 4」 上田市立美術館、長野

2018年 「起点としての 80 年代」

金沢 21 世紀美術館、石川／高松市美術館、香川／静岡市美術館、静岡

「前衛の地平ー辰野登恵子を中心にー展」 中津万象園・丸亀美術館、香川

「ニュー・ウェイブ 現代美術の 80 年代」 国立国際美術館、大阪

2017年 「鉄道絵画発→ピカソ行 コレクションのドア、ひらきます」 東京ステーションギャラリー、東京

「Variation and Autonomy: The Prints of Contemporary Japanese Painters」 パナマ現代美術館、パナマシティ／アルゼンチン国立美術館、ブエノスアイレス／フォルマ美術館、モントリオール／アトリエ・シルキュレール、モントリオール／トロント日本文化センター、サンパウロ日本文化センター、郵便局文化センター、リオデジャネイロ／パラナ州博物館、クリチバ／旧裁判所文化センター、マナウス／トヘ・マラコフ、レシフェ

「堤清二 セゾン文化、という革命を起こした男。」 松本市美術館、長野

「Hikarie Contemporary Art Eye vol.5 版画表現の豊かな魅力」 渋谷ヒカリエ 8／CUBE1,2,3、東京

2016年 「夢の美術館ーめぐりあう名画たちー」 沖縄県立博物館・美術館、沖縄／長崎県美術館、長崎／熊本県立美術館、熊本／久留米市立美術館、福岡／宮崎県立美術館、宮崎／島根県立美術館、島根

- 「在る表現—その文脈と諏訪 松澤宥・辰野登恵子・宮坂了作・根岸芳郎」茅野市美術館、長野
- 2015年 「君が叫んだその場所こそがほんとの世界の真ん中なのだ。パリ・リトグラフ工房 idem から—現代アーティスト 20 人の叫びと囁き」東京ステーションギャラリー、東京
- 「所蔵作品展 辰野登恵子がいた時代」千葉市美術館、千葉
- 「デッサン展」ツアイト・フォト・サロン、東京
- 2014年 「オオハラ・コンテンポラリー・アット・ムサビ」武蔵野美術大学美術館、東京
- 「開館 40 周年記念展 第 2 部 1974 年—戦後日本美術の転換点」群馬県立近代美術館、群馬
- 2013年 「ミニマル／ポストミニマル 1970 年代以降の絵画と彫刻」宇都宮美術館、栃木
- 「Re: Quest-Japanese Contemporary Art since the 1970s」ソウル大学校美術館、ソウル
- 「Ohara Contemporary」大原美術館、岡山
- 「GIVEN」ローレンス・ミラー・ギャラリー、ニューヨーク
- 「プレイバック・アーティスト・トーク」東京国立近代美術館、東京
- 2012年 「エディション・ワークス 版画工房からの視点」GALLERY SPEAK FOR、東京
- 「ことしも げんだいびじゅつ」資生堂アートハウス、静岡
- 「与えられた形象 辰野登恵子 / 柴田敏雄」国立新美術館、東京
- 2011年 「Girlfriends Forever!」トーキョーワンダーサイト本郷、東京
- 「T 氏コレクション—近代日本画・洋画名品展」アートホール神戸、兵庫
- 「現代アートセレクション」あさご芸術の森美術館、兵庫
- 「T 氏コレクション—内外の近現代絵画と彫刻たち」BB プラザ美術館、兵庫
- 「CAFÉ in Mito 2011—かかわりの色いろ」水戸芸術館現代美術ギャラリー、茨城
- 「今日的美術展 東日本大震災復興チャリティ・オークション」東京美術倶楽部、東京
- 2010年 「水彩、ドローイング、版画—李禹煥・辰野登恵子」珍画廊、韓国（ソウル）
- 「版による表現—信州ゆかりの作家たち展」長野県県民文化会館、長野／上田市山本鼎記念館、長野／長野県伊那文化会館、長野
- 「Beyond the Border 日中当代芸術交流展」、タングラム・アートセンター、中国（上海）
- 「陰影礼讃 国立美術館コレクションによる」新国立美術館、東京
- 2009年 「Wonderful Color 展—鮮やかな色彩の競演—」シロタ画廊、東京
- 「最先端アートの 50 年—アートって何？」平野美術館、静岡
- 「女性アーティストと、その時代 資生堂ギャラリー90 周年記念展」資生堂ギャラリー、東京
- 2008年 「Lee Ufan, Yayoi Kusama, Tatsuno Toeko」珍画廊、ソウル
- 「所蔵品による特別展示 田口コレクション | 現代の美術 この 30 年、何が探求されてきたか？ On Existence—在ることのあ・か・し」岐阜県美術館、岐阜
- 「新収蔵作品展」市立岡谷美術考古館、長野
- 「第 3 回所蔵作品展 近代日本の美術」東京国立近代美術館、東京
- 2007年 「愛しの My Art Collection—T 氏のコレクションから—」奈義町現代美術館、岡山
- 「ねりまの美術 2007 油彩画と版画」練馬区立美術館、東京
- 「企画・東京ステーションギャラリー『現代絵画の』展望展 それぞれの地平線」旧新橋停車場鉄道歴史展示室及び、Break ステーションギャラリー、東京

- 「日本現代芸術祭〈ヘイリ・アジアプロジェクト2〉」韓国（ヘイリ芸術村）
- 2006-07年 「タイ・シルバコーン大学・多摩美術大学交流展」タイ・シルバコーン大学、多摩美術大学美術館
- 2005年 「新潟市美術館所蔵名品展 20世紀絵画の魅力 空間を見つめるまなざし」豊橋市美術博物館、愛知
- 「絵画の力ー今日の絵画展 近年の新収蔵品を中心として」いわき市立美術館、福島
- 「Colorful 温泉 絵画の湯展」三鷹市美術ギャラリー、東京
- 「西から東から」シュウゴ アーツ、東京
- 2004年 「再考：近代日本の絵画ー美意識の形成と展開」東京都現代美術館、東京
- 2004-05年 「痕跡ー戦後美術における身体と思考」京都国立近代美術館、東京国立近代美術館
- 「版の記憶／現在／未来」東京芸術大学大学美術館陳列館、東京
- 「境界をこえて 20世紀の美術」愛知県美術館、愛知
- 2003年 「特集展示：絵画の力 80年代以降の日本の絵画」東京都現代美術館、東京
- 「日本の抽象絵画の巨匠3人展ー抽象表現の系譜 Part 1」ギャラリーYASOKAWA、兵庫
- 「第5次椿会作品展」資生堂アートハウス、静岡
- 「イケムラレイコ 小林正人 丸山直文 辰野登恵子」シュウゴ アーツ、東京
- 「新潟市立万代島美術館 開館記念展 I 絵画の現在」新潟県立万代島美術館、新潟
- 「絵画」鎌倉画廊、神奈川
- 「あるサラリーマン・コレクションの軌跡ー戦後日本美術の場所」三鷹市美術ギャラリー、東京ほか
- 「ねりまの美術 2003 版画・半画・反画ー表現と技法ー」練馬区立美術館、東京
- 「クラクフ国際版画トリエンナーレ 2003 日本・ポーランド」日本美術技術漫画館、クラクフ
- 2002年 「未完の世紀：20世紀美術がのこすもの」東京国立近代美術館、東京
- 「洋画のいろいろー収蔵作品大公開展」練馬区立美術館、東京
- 「韓日現代交流展」珍画廊、韓国（ソウル）同 2003年
- 「モダニズムの至福のとき いわき市立美術館名品展」宇都宮美術館、栃木
- 「SEPTEMBER 2002」西村画廊、東京
- 「開館 50周年記念 コレクションのあゆみ 1952-2002」東京国立近代美術館
- 2001年 「平成 12年度国立博物館・美術館巡礼展 絵画への招待 人・街・宇宙」徳山市美術博物館、山口／大分市美術館、大分
- 「現代の絵画展ー田村能里子・辰野登恵子・池田満寿夫など」ギャラリー石榴、長野
- 「椿会展 2001」資生堂ギャラリー、2005年まで毎年開催
- 「SEPTEMBER 2001」西村画廊、同 2002年
- 「時の旅人たち〈1980年以降の美術〉」愛知県美術館、愛知
- 2000年 「22人のアーティストによる佐谷画廊・銀座クロージング・ショー」佐谷画廊、東京
- 「Untitledー原美術館コレクション展」原美術館、東京
- 「日本美術の 20世紀ー美術が語るこの 100年」東京都現代美術館、東京
- 「現代美術の手法（5）大きい版画と小さな版画」練馬区立美術館、東京

- 1999年 「イメージの森へー原美術館コレクション展」 ハラミュージアムアーク、群馬
「空間をみつめる眼展ー絵画+空間の楽しみ」 新潟市美術館、新潟
「明晰さに向かって」 表参道・セゾンアートプログラム・ギャラリー、東京
- 1998年 「アート/生態系ー美術表現の自然と制作」 宇都宮美術館、栃木
- 1997年 「近代絵画の歩みー目と心の窓」 岐阜県美術館、岐阜
「信州の女流作家三人展」 須坂版画美術館、長野
「いまどきの美術 4 所蔵品に見る女性作家とその作品」 斎藤記念現代美術館、埼玉？
「子どものための美術展'97 2D? 3D! たて、よこ、たかさ。ひろがり・・・」 山梨県立美術館、山梨
「近代日本の美術の名作ー100年の軌跡」 東京国立近代美術館、東京
「第二回現代版画展」 ギャラリー石榴、長野
「多摩国際版画交流展ーポーランド・日本」 パルテノン多摩、東京
「平成9年度国立博物館・美術館巡回展 変貌する世界 日本の現代絵画 1945年以後」 高岡市美術館、富山/米子市美術館、鳥取
- 1996年 「ふたつのメディア 柴田敏雄 辰野登恵子」 鎌倉画廊、東京
「日本の現代美術 50人展ー21世紀への予感」 ナビオ美術館、大阪
- 1995年 「日本の現代美術 1985ー1995」 東京都現代美術館、東京
「水戸アニュアル'95 絵画考ー器と物差し」 水戸芸術館現代美術ギャラリー、茨城
「戦後文化の軌跡 1945ー1995」 目黒区美術館、東京ほか
「視ることのアレゴリー 1995: 絵画・彫刻の現在」 セゾン美術館、東京
「抽象美術へのいざない」 国立国際美術館。大阪
「Prints: To Benefit the Foundation for Contemporary Performance Arts」 ブルック・アレクサンダー、ニューヨーク
- 1994年 「果実の受胎 駒井哲郎と現代版画家群像」 埼玉県立近代美術館、埼玉
「アジアの創造力」 広島市現代美術館、広島
「第22回サンパウロ・ビエンナーレ」 ブラジル
「第3回北九州ビエンナーレークイントエッセンス」 北九州市立美術館、福岡
「立ちあがる境界」 辰野町郷土美術館、長野
「版画工房 エディション・ワークス展ー版画にみる日本現代美術」 ヨコハマポートサイドギャラリー、神奈川
- 1994ー95年 「戦後日本の前衛美術」 横浜美術館、横浜/グッゲンハイム美術館、ニューヨーク/サンフランシスコ近代美術館
- 1993年 「李禹煥・辰野登恵子」 パシフィコ横浜、神奈川
「アブソリュート・ビギナーズ」 ギャラリー16、京都
「企画展 信州の現代版画 I」 須坂版画美術館、長野
- 1992年 「70年代日本の前衛」 イタリア・ボローニャ市立美術館、世田谷美術館
- 1991年 「今日の造形 7 現代美術〈日本の心展〉」 岐阜県美術館、岐阜
「辰野登恵子 堂本尚郎 李禹煥 大型版画による新装開店記念展」 シロタ画廊、東京

- 「線の表現 眼と手のゆくえ」 埼玉県立近代美術館、埼玉
- 「昭和の絵画 第3部 戦後美術—その再生と展開」 宮城県美術館、宮城
- 「THE PAINTINGS-POST 50'S Vol. II —ある絵画史の脈絡—第二期」 ギャラリー米津、東京
- 1990年 「絵画—1950年以後」 ギャラリー米津、東京
- 「第12回日本秀作美術展」 高島屋、東京（1998、2003年にも選抜出品）
- 「ドローイング'90 原画展」 京二画廊、東京
- 「ミニマル・アート」（国立国際美術館、大阪）
- 「ジャパン・アート・トゥデイ—あいまいなパースペクティブ、ヴィジョンの変容」
ストックホルム文化センター、スウェーデンほか
- 1989年 「ドローイングの現在」 国立国際美術館、大阪
- 「ユーロパリア 1989 ジャパン 現代美術展」 ゲント市立現代美術館、ベルギー
- 「第25回今日の作家展—かめ座のしるし」 横浜市民ギャラリー、横浜
- 1988年 「現代日本美術の動勢—絵画 PART2」 富山県立近代美術館、富山
- 1987年 「現代絵画の展望—平面と空間 第18回現代日本美術展」 東京都美術館、東京
- 「絵画 1977-1987 開館10周年記念」 国立国際美術館、大阪
- 1985年 「水彩による表現 PART III」 鎌倉画廊、東京
- 「第2回アジア美術展」 福岡市美術館、福岡
- 「'85 涸沼・土の光景」 涸沼宮前荘敷地、茨城
- 1984年 「第4回ハラ アニュアル」 原美術館、東京
- 「1960~70年代の洋画と新しい『平面』芸術の動向—現代絵画の20年」 群馬県立近代美術館、群馬
- 「第2回富山国際現代美術展」 富山県立近代美術館、富山
- 1984-1985年 「現代美術への視点 メタファーとシンボル」
東京国立近代美術館、東京／国立国際美術館、大阪
- 1983年 「質を問う9人の仕事展(1) 70年代中葉期の転換点より10年」 ギャラリー手、東京
- 「現代美術の新世代展」 三重県立美術館、三重
- 1982年 「第2回国際青年ドローイング・トリエンナーレ」 ノリスハレ・ゲルマン国立博物館、ニュルンベルク／ローザンヌ州立美術館、ローザンヌ
- 「現代・紙の造形展—日本と韓国」 国立現代美術館、韓国（ソウル）
- 1981年 「日本現代美術展 70年代美術の動向」 韓国文化芸術振興院美術館、韓国
- 1980年 「1980 日本の版画」 栃木県立美術館
- 「Art Today'80 絵画の問題展 ロマンティックなものをこえて」 西武美術館、東京
- 1979年 「第11回東京国際版画ビエンナーレ展」 東京国立近代美術館、東京
- 「現代美術'79展」 現代美術研究室、東京
- 1978年 「アート・ナウ '78」 兵庫県立近代美術館、兵庫
- 「現代美術'78展 須賀昭初」
- 「新人展 須賀昭初・辰野登恵子・山田桃子」 廉画廊、東京
- 「現代美術'78展 須賀昭初・辰野登恵子・山田正亮」 現代美術研究室、東京

- 1977年 「沢居曜子・辰野登恵子展」 ギャラリー射手座、京都
 「Tokyo / Bay Area Exchange of Contemporary Art」 80 ラングストン・ストリート・ギャラリー、サンフランシスコ
 「日米現代美術交換展ーウエストコーストの作家たちと」 神奈川県民ホールギャラリー、神奈川県
 「第2回現代版画コンクール展」 大阪府民ギャラリー、大阪
 「The Prints 展」 渋谷パルコギャラリー、東京
- 1976年 「沢居曜子・辰野登恵子展」 ギャラリー射手座、京都
 「沢居曜子・辰野登恵子展」 ギャラリーU、愛知
 「ATELIER C-126 PRINT SHOW'76 師駒井哲郎に捧ぐ」 みゆき画廊、東京
- 1975年 「版画5人展」 スメーズエス、神奈川県
 「ATELIER C-126 PRINT SHOW'75」 みゆき画廊、東京（1974年にも出品）
- 1974年 「今日の版画65人展」 東京セントラル美術館
 「嶺野寿蔵・辰野登恵子企画展」 ギャラリーエステル、東京
- 1973年 「第2回コスモス・ファクトリー」 松村画廊、東京
- 1972年 「第7回ジャパン・アート・フェスティバル」 東京セントラル美術館、東京／メキシコ国立大学付属美術館、メキシコシティ／アルゼンチン国立美術館、ブエノスアイレス
- 1971年 「コスモス・ファクトリー」 松村画廊、東京

■ コレクション 50音順

愛知県美術館、愛知
 足立区役所、東京
 いわき市立美術館、福島
 宇都宮美術館、栃木
 岡谷美術考古館、長野
 外務省
 北九州市立美術館、福岡
 岐阜県美術館、岐阜
 黒部市美術館、富山
 高知県立美術館、高知
 国立国際美術館、大阪
 埼玉県立近代美術館、埼玉
 佐久市立近代美術館油井一二記念館、長野
 資生堂アートハウス、静岡
 シティバンク、福岡支店、福岡
 セゾン現代美術館、長野

高松市美術館、香川
千葉市美術館、千葉
東京オペラシティアートギャラリー、東京
東京国際フォーラム、東京
東京国立近代美術館、東京
東京都現代美術館、東京
栃木県立美術館、栃木
富山県立近代美術館、富山
長野県諏訪二葉高等学校、長野
名古屋市美術館、愛知
新潟市美術館、新潟
練馬区立美術館、東京
原美術館、東京
平野美術館、静岡
福岡市美術館、福岡
府中市美術館、東京
松本市美術館、長野
三鷹市美術ギャラリー、東京
横浜美術館、神奈川
和歌山県立近代美術館、和歌山

ソウル市立美術館、韓国（ソウル）
大林美術館、韓国（ソウル）
フレデリック・R. ワイズマン美術財団、アメリカ（ロサンゼルス）